

第3期5カ年中期行動計画ーアジア（亜細亜）からグローバルへー
（第3期5カ年中期行動計画の令和6年度進捗状況）

【スローガン】 楽しい大学・面白授業・アジアと共に～選びたくなる 亜細亜大学～

【基本方針】

- （1）アジア学修の浸透及び国際交流の持続展開
- （2）社会の変化に対応した新しい学科の開設による教育の拡充
- （3）主体的学修力の育成強化
- （4）楽しい大学・面白授業の構築
- （5）社会連携活動の拡充
- （6）広報活動の強化
- （7）ガバナンス体制の構築

令和4年度を期首とする第3期5カ年中期行動計画は、上述のスローガンと基本方針を定め、重点5施策を推進しています。同計画は3年間が経過し、本学の教育施策が順調に進捗しています。

一方、計画策定当初から社会環境や志願者動向が大きく変化する中、計画を一部見直し、本学のビジョン「自立と自己実現に向けて主体的に考え行動し、相互の多様性を尊重しつつ、アジアを中心とする国際社会で活躍する人材の育成」をさらに実現してまいります。

1. 見直しのポイント

（1）第3期5カ年中期行動計画の期中開始の学部学科の改編の完遂

社会変化に対応する教育組織改革の推進として、「経営学部データサイエンス学科」開設（令和5年度）、「社会学部現代社会学科」開設（令和7年度）、そして、令和8年度「健康スポーツ科学部健康スポーツ科学科（設置認可申請中）」開設を完遂し、併せて本学の社会的な認知度を高め、既存学部を含めた志願者増を図り、入学定員を確保することを必達目標としました。

（2）本学のビジョンを達成するための教育基盤の再強化

- ・『アジア力』を高めた人材の輩出
- ・亜細亜大学で学びたい志願者を確保（ニーズに応える教育の充実と発信の強化）
- ・内部統制システムの体制整備

2. 令和6年度の進捗状況について

令和6年度は、中期行動計画を見直す一方で、重点5施策を推進し、亜細亜学園5カ年中期行動計画推進本部が下表のとおり進捗確認を行いました。令和7年度は、引き続き、各施策における課題に取り組み、着実に推進いたします。

(1) 国際化施策

成果	・亜細亜大学韓国プログラム（AUKP）の開始 ・短期留学の亜細亜大学グローバルプログラム（AUGP）ベトナムの拡充（期間を2週間から4週間へ、認定単位を2単位から4単位へ）
課題	・アジア諸国を中心とする外国人留学生の受け入れ、アジア諸国への派遣留学

(2) 教育・研究活動施策

成果	・「ティーチングアワード」の実施 ・学修成果の達成すべき質的水準及び具体的実施方法などを定めたアセスメントプランの公表 ・オンデマンド授業普及のための事例共有をテーマとしたFDSD研修の実施
課題	・学修成果可視化システムによる把握に加え、アセスメントプランによる全学的な学修成果把握の実施

(3) 学修環境・支援施策

成果	・キャンパス外構、屋内階段へ点字ブロックを敷設し、視覚障がい学生が安全に移動できる環境を整備 ・体育会団体の顧問及び学生を対象としたコンプライアンス研修等を複数回実施
課題	・学友会組織の学生による自主的な組織運営のためのマニュアル等の整備支援

(4) 社会連携施策

成果	・笹川平和財団、アジア研究所共催のSDGs講演会開催 ・第4回高校生アジアフォトコンテスト開催 ・アジアをテーマとした高等学校での模擬授業実施
課題	・卒業生と在学生の交流機会の拡充及び検証による効果創出

(5) 大学運営施策

成果	・社会学部開設と対面広報強化により、既設学部を含め令和7年度志願者数増加 ・健康スポーツ科学部の設置認可申請 ・ダイバーシティ推進宣言及び基本方針の策定
課題	・附属校に代わる高大連携協定校の増加

以上